

# 「フードバンク」の現況を追う

食品廃棄や食品残さの増加が社会問題化する中で、いま「フードバンク」という活動が注目を集めている。品質や安全性はまったく問題ないが、規格外や包装不備などで捨てられる食品を生活困窮者に無償提供、支援する運動だ。(由)日本食肉協会の九州・沖縄ブロック情報交換会でも福岡支部の西島一之支部長が自らの体験をもとに「フードバンク」の取り組みを話題提供。食品の利活用、再分配の仕組みを構築する必要性を訴えた。食品ロスの抑制や社会活動への参画などCSR(企業の社会的責任)が求められる中、「フードバンク」の現況を追った。

品廃棄物は平成17年度の農林水産省統計によれば、約1900万t。本邦で排出される食品ロスだけでも年間約500万~900万tの発生があるとされが、世間に過剰反応して食べられるのに廃棄される食品ロスだけでも年間約500万~900万tの発生があるとされが、世間に過剰反応して

## 不要な食品を活用 規格外や 包装不備 生活困窮者ら支援



食品の利活用、再分配の仕組み  
を訴える西島氏

しないことを前提に製品を引きとつてくれるところを探していたら、広島市のフードバンク団体の存在を知り、さっそく寄付を申し入れた

食品関連企業からの余剰食品の受け入れは各団体・養護施設、炊き出し

活困窮者の支援組織や福祉・養護施設、炊き出し

ねつとでは消費期限の迫つたうどん麺を食品メーカーから受け入れ、当

日中に食する条件で無償提供している。

また、食肉や鮮魚も原則的には扱わない。寄付

を受けても保管や加工の施設を完備していないフ

ードバンク組織も少なくないからだ。「あいあい

体で対応も異なるが、ボランティア組織などに

「あいあいねつと」の場

無償提供しており、その

ねつとの場合、業務用

「フードバンク運動

も相手先と確認書が交

わざれる。

「あいあいねつと」の場合は、

「あいあいねつと」が賞味期限を理解してくださる食品

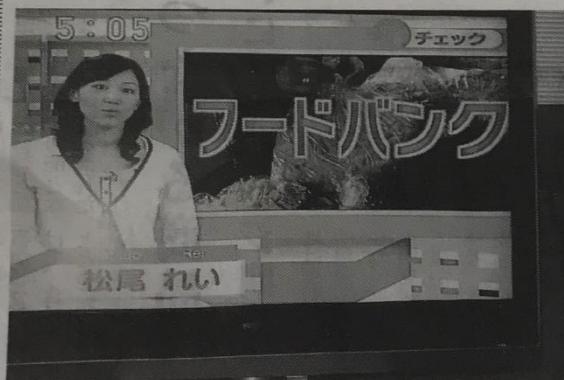
を理解してくださる食品

が理解してくださる食品

ンツやコストコなど米国系企業のほか、国内の「きだらう」と語る。多くの原田代表も「国部の大手食品メーカーももっとも、フードバンクのNPO認証組織は全員が広がりつつある。西島氏は「フードバンク運動への参加は食品の提供企業にとって廃棄にかかるコスト削減できるだけでなく、食品ロスの抑制や福祉活動といった企業の社会的責任を果たす意味も大きい。今後は食品企業もフードバンクの支援組織に協力し、まだ食べられる食品に新たな命を吹き込み、多くの人が食べられるよう企業の協力を願いたい」と訴えている。

困窮者は世間が思う以上に多い。食べられる食品を捨てないで、1人でも1ドルが高過ぎる。生活困窮者は世間が思う以上に多い。食べられる食品を捨てないで、1人でも1ドルが高過ぎる。生活

困窮者は世間が思う以上に多い。食べられる食品を捨てないで、1人でも1ドルが高過ぎる。生活



全国のフードバンク活動を報じるNHKの「ゆうどきネットワーク」